

アフリカの研修員が 日本の大学として初のアフリカ出身学長から 日本社会について学びます

アフリカ出身の研修員が自国の文化や歴史背景を反映させたユニークかつ高品質な商品を発掘し、先進国をターゲットに市場のニーズをくみとり、「売れるものをつくる」視点と「売るノウハウ」を実践的に学習する研修が2020年1月18日から始まっています。

日本市場の見学や、海外商品を取り扱う企業の訪問を通して、日本企業のマーケティング事例を学び、研修員は自国の特産品のブランディング化や伝統産業の海外市場への展開を探ります。

2月7日には、京都精華大学を訪問し、マリ出身のウスビ・サコ学長から「アフリカ人から見た日本社会」について講義していただきます。サコ学長のお話を通して、自国の特産品をどのように日本にプロモートし、輸出振興の突破口とするかについて理解が深まることが期待されます。是非、取材をご検討ください。

- 研修コース名：先進国市場を対象にした輸出振興/マーケティング戦略（B）
- 研修期間：2020年1月18日～2月23日 於 九州センター他
- 参加国（6ヶ国・9名）：エチオピア、ガーナ、ケニア、マラウイ、ナイジェリア、スーダン
- 取材対象日程：（取材申し込みは、以下問合せ先までご連絡ください）

講義・視察先	日時	場所
京都精華大学にて「アフリカ人から見た日本社会」講義	2月7日（金） 14:00~15:30	京都精華大学 学長室 京都府京都市左京区岩倉木野町 137

【本件に関するお問い合わせ先】

JICA 九州センター研修業務課 中野、能島
TEL：093-671-8360 FAX：093-671-0979